

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
河原デザイン・アート専門学校	平成13年4月3日	白石隆保	〒790-0002 愛媛県松山市二番町1丁目2-2 (電話) 089-931-9111				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人河原学園	昭和60年10月21日	理事長 河原成紀	〒790-0001 愛媛県松山市一番町1丁目1-1 (電話) 089-943-5333				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養関係専門課程	漫画クリエイター科	平成22年文部科学大臣告示第30号	—			
学科の目的	職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものとする						
認定年月日	平成 26年 3月 31日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	1710時間	795時間	915時間	0時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	37	0人	2人	6人	8人		
学期制度	■前期:4月10日～9月15日 ■後期:10月2日～2月25日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験の結果によって評価			
長期休み	■学年始:4月10日 ■夏季:7月24日～8月20日 ■冬季:12月23日～1月10日 ■学年末:2月26日～4月9日		卒業・進級条件	出席率90%以上 卒業基準検定の取得 期末試験合格			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人及び保護者との面談		課外活動	■課外活動の種類 NPOまがて繋がる愛媛～ひめこ～ ■サークル活動: 無			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 株式会社ありがとうサービス、第一印刷株式会社、株式会社アンビション、株式会社ラグジン ■就職指導内容 就職三者相談会、履歴書の添削指導、面接指導 ■卒業生数 22 人 ■就職希望者数 21 人 ■就職者数 21 人 ■就職率 : 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード ③ 22人 22人 Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード ③ 22人 22人 ビジネス著作権検定 初級 ③ 22人 6人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するものを記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 別冊フレンド月例賞(吉田 菜) りぼん月例賞(垣本 美穂) 月刊コミックジーン12月号銅賞(戸根 彰香)など			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成29年4月1日時点において、在学者38名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者36名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 妊娠 ■中退防止・中退者支援のための取組 学業不振を防ぐために小テストの実施と補習を行う。変化に気づくための個別面談。 不登校の学生に対しての専門家によるカウンセリングの実施など。		■中途退学率 5.3 %				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: <input type="radio"/> 有・無 ■河原学園奨学生制度 種類: 給付型(返還義務なし) ■授業料等減免制度 ★入試特典: AO入試(初年度授業料10万円減免)、指定校推薦入試(初年度授業料15万円減免)、推薦入試(初年度授業料5万円減免)、一般入試・自己推薦特典(初年度授業料3万円減免)、一般入試・大学短大社会人特典(入学金半額減免) ★高校生向けの支援制度 ■河原学園特待生制度 SSS級:学費100万円減免、SS級:学費50万円減免、S級:学費25万円減免、A級:学費15万円減免 ■河原学園特別学生寮制度 第一種/寮費:無料 第二種/寮費:月額1万円 ■一人暮らし支援制度/支援額:月額5千円支給 ■通学定期代支援制度/支援額:月額5千円を上限として通学定期代の一部を支給 ★大学・短大・社会人向けの支援制度 ■再入学制度/入学金全額免除 ★全対象の支援制度 ■家族制度/減免額:授業料5万円減免 ★入学後に利用できる制度 ■進級時特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: <input type="radio"/> 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 昨年度実績1名						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: <input type="radio"/> 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科のホームページURL	URL: https://idea.kawahara.ac.jp						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門学校は、職業教育のモデルは、業界の実務動向、社会の変化がその基盤にならなければならない。したがって教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、教務系会議の中核的委員会として位置づけ、前期末、後期末の総括会議(科目検討、シラバス検討、コマシラバス検討、授業法検討など)において、計画上の可否、実行上の可否判断に関連外部実務家の意見をたえずフィードバックさせる会議体として機能させることとする。議事録などには、新科目開設の必要の有無、シラバス・コマシラバス改善の必要の有無、教授法改善の必要の有無などを科目単位で具体的にアジェンダ集約し、改善の中身が具体的にわかるよう会議を集約することを会議規程としても明白化している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年19月25日現在

名前	所属	任期	種別
山口 拓馬	NHN comico株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	①
いで まゆみ	漫画家	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
黒田 恒平	伊予鉄総合企画株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	③
白石 隆保	河原デザイン・アート専門学校 校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
露口 武志	河原デザイン・アート専門学校 教頭	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
富久 重信	河原デザイン・アート専門学校 就職担当	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
水口 由希恵	河原デザイン・アート専門学校 教務	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	
越智 晃浩	河原デザイン・アート専門学校 教務	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回(10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 平成29年10月27日 17:00～18:30

第2回 平成30年 3月28日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

企業連携の取り組みについての助言。また、学外活動や作品制作についてアドバイス。問題解決型の授業スタイルの提案などの意見をカリキュラムに取り入れる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等(1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術

止未寺と連携した天白寺は、1)子どもが校内にのりる通常の天白寺では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

漫画の企画・制作・発行に至るプロセスを企業と連携することにより実践的に学ぶ。具体的には、NPOマンガで繋がる愛媛～ひめコミ～として「LINKの発刊」、自らがメディアを持つことにより、出版物の制作の流れ(編集・取材・営業・デザイン・配付など)を自らが体験し、それぞれの役割を理解する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
メディア企画実践 I	出版物を制作するための企画書の作成・ワークフローの理解、マーケティング、営業のロープレ等を通して、企画提案できるクリエイターの育成を目指す。	有限会社ストリング
漫画演習 I～IV	コマの割り方やキャラクターの見せ方、物語の展開の仕方など漫画を描くうえで基本となる技術の習得を目的とする。	清水桃里(漫画家)
マンガテクニック I～IV	ペンの使い方やトーンの貼り方など漫画を制作する上で必要とされるテクニックの習得を目的とする。	土方悠(漫画家)
印刷概論	印刷に必要なトンボやCMYK、CTP版など出版に必要な知識の習得を目指す。	第一印刷株式会社
ネーム基礎、応用	漫画の元となるプロットの書き方、ネームの作り方など漫画の核となるシナリオに関する技術の習得を目的とする。	いでまゆみ(漫画家)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

和田重次郎講演会(2017/11/18)
 講師/上岡 幹夫(和田重次郎顕彰会) 参加者:越智

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新任教員研修」(連携企業等:一般社団法人 全国専門学校教育研究会)期間:4月12日(水)、4月19日(水)、4月28日(金)、5月10日(水)、5月17日(水)、5月24日(水)、5月31日(水)、6月15日(木)、6月20日(火) 対象:2017年度入職の新任教員内容:全国専門学校教育研究会で実施している研修の教材提供を受け、専修学校制度、職業実践専門課程概要、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、教育活動に関する業務全般の内容についての研修を実施した。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

公式作家講和(2018/6/1)
 講師/山口 拓馬(NHN comico株式会社) 参加者:水口

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新任教員研修」(連携企業等:一般社団法人 全国専門学校教育研究会、JAMOTE認証サービス株式会社)期間:4月～7月にかけて12回程度を予定 対象:2018年度入職の新任教員内容:全国専門学校教育研究会およびJAMOTE認証サービス株式会社の講師から研修プログラムの構成について提案および助言を受け、専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「専修学校における学校評価と第三者評価」(連携企業等:国立大学法人 愛媛大学)期間:8月頃を予定 対象:全教員内容:自己点検評価・学校関係者評価・第三者評価それぞれの概念・制度・手法についての基本的な知識を踏まえ、高等学校・大学・専門職大学院の事例を参照しながら、自己点検評価・学校関係者評価・第三者評価を通して教育活動の質保証・向上はかるための具体的方法、頻出課題等について学習する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「自己評価・学校関係者評価研修」(連携企業等: JAMOTE認証サービス株式会社)期間:9月頃を予定 対

家:学校運営者、教務責任者内容:各種教育機関に対してISO29990Iにもとづく第三者評価を実施しているJAMOTE認証サービス株式会社の講師から研修プログラムの構成について提案および助言を受け、職業実践専門課程制度にもとづく自己評価、学校関係者評価の実効性向上をはかるための留意事項や具体的方法について学習する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「統計学研修」(連携企業等:統計学について専門的知見を有する有識者)期間:12月もしくは3月頃を予定
対象:学校運営者、教務責任者内容:自己評価をはじめとする学校評価はもちろん学修成果に結びつく各種形成的評価においても、定量的な評価指標の利用が不可欠である。そこで、妥当な評価指標の発見や算出、評価指標の数学的分析に必要な統計学(記述統計学・推測統計学)の基礎知識について学習する。研修内容および利用教材については、統計学について専門的知見を有する有識者からの助言や提案に基づいて決定する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検評価の客観性・信頼性や社会的ミッションの取り込みを加速させる取り組みでなければならない。そのことによって、組織的、継続的な学校改善に実質的に寄与する自己点検評価の質的向上を図ることとする。またステークホルダーとしての関係者評価にとどまらず、将来的には、関係者を越えた第三者評価に発展しうる質の高い関係者評価を目指すこととする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的
(2) 学校運営	組織・管理運営
(3) 教育活動	教育
(4) 学修成果	基本指標
(5) 学生支援	就職指導、学生支援
(6) 教育環境	設置基準項目(施設設備等に関する事項)
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	設置基準項目、組織・管理運営(法令遵守)
(10) 社会貢献・地域貢献	学校教育以外の諸活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・学校関係者評価委員会のご意見については議事録を作成・保存しており、ご意見を頂いた内容を基に次年度以降の学校運営の計画を策定している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年9月25日現在

名前	所属	任期	種別
上馬場 浩	第一印刷株式会社 製造部 制作課 課長	平成29年4月1日～平成30年3	企業等委員
安藤 俊紀	南海放送サービス株式会社 制作部部長	平成29年4月1日～平成30年3	企業等委員
いで まゆみ	漫画家	平成29年4月1日～平成30年3	企業等委員
重藤 八土	聖カタリナ学園高等学校	平成29年4月1日～平成30年3	企業等委員
中岡 彩	卒業生	平成29年4月1日～平成30年3	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://idea.kawahara.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

高度な職業教育への研鑽を組織的、継続的に推進するためには、組織的、継続的な企業連携が必須とわれわれは考えている。その連携を有意義なものとするためには、企業にとって、学校の教育人材目標やその現状が体制として見えやすいものになっていなければならない。教育課程編成会議、学校関係者評価会議などの会議規程の透明性や開放性のもとより、自己点検評価の各指標全体が検証可能な透明性や開放性を持つことが、そのためにも必須である。その方針の下、われわれは以下の連携指標をもつこととする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目的、沿革、組織・管理運営、設置基準項目(施設設備等に関する事項)
(2) 各学科等の教育	基本指標、教育、設置基準項目(学生に関する事項) 設置基準項目(教育に関する事項)
(3) 教職員	設置基準項目(教員等に関する事項)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職指導
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動以外の諸活動
(6) 学生の生活支援	学生の受け入れ
(7) 学生納付金・修学支援	設置基準項目(財務に関する事項)、学生の受け入れ
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価結果公開資料
(10) 国際連携の状況	学校教育以外の諸活動

(11)その他	
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法	
ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())	
URL: https://idea.kawahara.ac.jp	

授業科目等の概要

(文化・教養関係専門課程漫画クリエイター科) 平成28年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			印刷概論	色の構成や効果、色彩についての知識を学ぶ。色彩士検定の取得を目指す。	1通	60	○	○		○		○		
○			Photoshp基礎	Photoshopの使用方法と応用した使用方法を学ぶ。検定取得を目標とする。	1通	60	○	○		○		○		
○			Illustrator基礎	Illustratorの使用方法と技術を学ぶ。Illustrator検定の取得を目指す。	1通	60	○	○		○		○		
○			Illustrator応用	Illustratorの使用方法と技術を学ぶ。Photoshopと応用しての使用法やチラシ制作などを学ぶ。	1後	30	○	○		○		○		
○			作画基礎A	漫画・イラストを制作する際の道具の使用法、プロットの作成方法、ネーム・コマ割りの技術等を学ぶ。	1通	60	○	○		○			○	○
○			作画基礎B	漫画・イラストを制作する際の決まりや作画の技術を学ぶ。	1通	60	○	○		○			○	○
○			シナリオ技法I	漫画制作の際に必要な、シナリオ・ストーリー展開を学ぶ。	1通	60	○	○		○			○	
○			ペン基礎/効果基礎	漫画・イラストを制作する際に使用する、Gペン・丸ペン・スクールペンなど複数のペンの使用方法と技術を学ぶ。	1通	60	○	○		○			○	
○			トレース基礎	漫画トレースとロゴトレースに分け、アナログ・Illustratorなどでトレースする技術を学ぶ。	1通	60	○	○		○			○	
○			情報収集論	取材の仕方や、様々な情報を収集し分析、作画に活かすところまでを学ぶ。	1通	60	○	○		○			○	○
○			文書作成	作文、新聞記事研究等を行い、文章を分かりやすく書く事を学ぶ。	1通	60	○	○		○			○	

○		業界研究Ⅰ	漫画・イラスト・出版・デザイン等の企業や職種の紹介と業界を知る。	1通	60		○	○	○	○	○		
○		作品研究Ⅰ	年に4回の課題制作に対する進捗を管理し、各志望出版社に向けた作画指導を行う。	1通	60		○	○	○	○	○		
○		パース基礎A	建物や背景などの立体の取り方、パースの取り方とそれを作画する技術を学ぶ。	1前	30		○	○	○	○			
○		パース基礎B	小物を中心としたパースを学ぶ。道具などは手に対しての大きさや使用用途別による描き分けを学ぶ。	1後	30		○	○	○	○			
○		ビジネス著作権概論	ビジネスシーンにおける著作権の概要と法知識を学ぶ。ビジネス著作権検定の取得を目指す。	1前	30		○		○	○			
○		デジタルコミック	PCを使用した、コミック制作と技術を学ぶ。トーンや解像度、効果の出し方等を学ぶ。	1後	30		○	○	○	○			○
○		作画応用A	1年次で学んだ作画基礎を基に、2年次では応用としてジャンル・個人別の作画の方法を学ぶ。	2通	60		○	○	○			○	○
○		作画応用B	漫画制作における、画面構成技術、演出方法、ジャンル別の作画技術を学ぶ。	2通	60		○	○	○			○	
○		シナリオ技法Ⅱ	漫画制作の際に必要な、シナリオ・ストーリー展開を学ぶ。また、エンターテイメント演出方法を学ぶ。	2通	60		○	○	○			○	
○		企画立案・実践	漫画雑誌LINKを制作する際の企画書の作成や企業に対するアプローチ法、営業や編集・制作について学ぶ。	2通	60		○	○	○			○	○
○		Illustrator実践	名刺制作、カレンダー制作、媒体資料制作など、実際のデザインの仕事となるような技術を学び制作を行う。	2通	60		○	○	○			○	
○		印刷編集概論	出版物を印刷する際の印刷技法や入稿方法、色味、編集について学ぶ。	2通	60		○	○	○			○	
○		ビジネスマナー	ビジネスマナーの基本と就職指導。内定した学生には内定後教育を行い、一般常識や教養を学ぶ。	2通	60		○	○	○			○	
○		WEBコンテンツ実践	PCを使用した作画方法と着色、画風の違い等の技術を学ぶ。また、コンテンツ制作としてキャラクターデザインも学ぶ。	2通	60		○	○	○			○	
○		業界研究Ⅱ	漫画・イラスト・出版・デザイン等の企業や職種の紹介と業界を知る。	2通	60		○	○	○			○	○

○		作品研究Ⅱ	年に4回の課題制作に対する進捗を管理し、各志望出版社に向けた作画指導を行う。	2通	60		○	○		○		○	○	
○		WEBコミック編集	1年次に学んだ、PCを使用したコミック制作を実際にWEBコミックとして発刊、WEB上への掲載と技術を学ぶ。	2通	60		○	○		○		○	○	
○		デジタル広告応用	IllustratorとPhotoshopを応用して、雑誌の表紙や広告デザインを学ぶ。また、POP制作なども学ぶ。	2通	60		○	○		○		○		
○		アシスタント/就職研究	漫画家デビュー学生と就職希望学生に分け、それぞれの分野の研究と制作を行う。	2通	60		○	○		○		○		
○		雑誌出版実践(LINK)	漫画雑誌LINKを制作する。企業と連携し取材や許可取り等を行い、漫画雑誌の出版までを行う。	2前	30		○	○		○		○	○	○
○		建築パース	建築・インテリアの視点からパースを学ぶ。学校や橋、球場、美術館から机と椅子までの作画技術を学ぶ。	2前	30		○	○		○		○		
○		人体パース	人体パースを学び、人体のバランスを学ぶ。年齢や性別による骨格の違いや描き分けを学ぶ。	2前	30		○	○		○			○	
○		ビジネス著作権応用	1年次で学んだビジネス著作権を基礎に、漫画・出版業界での著作権問題を学ぶ。	2後	30		○			○		○		
合計			34科目	1710単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目の履修合格(課題制作、期末試験)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。